



綿っ子通信



令和7年3月24日発行 卒業祝号



学校長 式辞

校庭の柳の木々は春風にそよぎ、桜のつぼみも大きくふくらみ始め、春の訪れを感じる今日の佳き日に、太田市立綿打小学校を巣立ちゆく79名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日は、太田市教育部 生涯学習課 課長補佐 間々田弘之様、太田市議会議員 高橋えみ様をはじめ、たくさんのご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、このように卒業式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

只今、卒業生の皆さん一人ひとりに、卒業証書を手渡しました。卒業証書は、小学校6年間の学びと成長の証であり、皆さんを支え、成長を喜び、ともに歩んできてくれた保護者への感謝状でもあります。この卒業証書を胸に、中学へと進み、さらに大きく成長することを願っています。

さて、皆さんが最上級生として過ごした令和6年度には、4年に一度開催される世界的なスポーツの祭典であるオリンピックがフランスのパリで開催されました。世界を相手に活躍する選手たちの姿に、人々が歓喜した年でありました。世界中のアスリートたちは、最高のパフォーマンスを発揮するために、何年もの歳月をかけて心と身体を鍛え、試合や記録に挑んでいました。

人が一生懸命に何かに挑戦している姿は、見る人に感動を与え、幸せな気持ちにしてくれます。さらに、自分にもできる、私も頑張ると新たな一步を踏み出す勇気を与えてくれます。これは私だけでなく、世界中の多くの方が同じ気持ちになったと思います。勝敗やタイム、順位やメダルの色も大切なことかも知れません。しかし、どの選手も自分自身と戦い、自分たちの可能性に直向きに挑んだからこそ、その結果に関わらず、見る人に感動や幸せ、勇気をくれたのだと思います。

卒業生の皆さんは、学年スローガンにまさに「挑む」を掲げ、4月から様々なことに挑戦してきました。

「あいさつのできる学校に挑む」を掲げたあいさつ広め隊。皆さんのおかげで、全校があいさつをしようという雰囲気と伝統を築いてくれました。

「ちゃんと授業に挑む」を掲げ、授業準備や移動を速やかに行い、みんなで気持ちよく授業に臨むことができました。

「全力で音楽に挑む」を掲げて臨んだわたっ子広場音楽集会。素晴らしい演奏と歌声で全校を魅了してくれました。

「全校の絆を深めるに挑む」を掲げて企画運営まで自分たちで行ったドッジボール大会。5年生との白熱した試合は、応援していた人たちも手に汗握る感動的な試合でした。

「かっこいいソーランに挑む」「新しい遊競技に挑む」「自分たちが主役の運動会に挑む」まさに自分たちで創り上げた運動会。皆さんの勇姿は、見に来られた保護者や地域の皆さんの記憶の中にしっかりと刻まれたはずです。

「みんなと協力して最高の思い出づくりに挑んだ」修学旅行。仲間と過ごした一泊二日の思い出は、かけがえのないものになったことでしょう。

今話したことは、皆さんが過ごした校舎3階の壁に大きく掲げられていたことです。この他にもたくさん「挑む」が掲げられていましたね。

皆さんが挑んできた姿は、オリンピック選手と同じように、在校生や先生方、保護者や地域の皆様に感動と幸せを分け与えてくれました。そして、皆さんの頑張りが綿打小学校の顔となり、創立151年目の新しい歴史の1ページに「挑む」という文字を刻み、そしてそれを体現してくれたのです。本当にありがとうございます。

卒業は、皆さんの人生の中で、大きな節目の一つですが、終わりを意味する節目ではありません。むしろ、自分の可能性を広げるための始まりなのです。これまで挑み、挑戦し続けたことをくれぐれも終わりにしないでください。もうやりきったなどと満足したらもったいない。これから、これまで以上に挑み、挑戦し続けてください。そして、そんな皆さんを見てくれる人たちを感動させ、幸せにし、勇気を与え続けてください。皆さん一人ひとりには、人を幸せにする力があるのです。その力を大いに発揮してください。

ときには、悲しいこと、辛いこと、苦しいことがあって、挫けそうになるときもあるかもしれません。そんなときは、一度立ち止まり、ひと休みしましょう。休むことも無駄ではありません。そして、周りを見回してください。友達や仲間が頑張っている姿を見て、勇気もらいましょう。また、あなたを応援してくれている人たちがたくさんいることにも気付けるはずです。たくさんの人から元気をもらい、また歩み始めればいいのです。胸を張って、希望を抱いて、力強く一歩を踏み出してください。

保護者の皆様、本日は、お子さまのご卒業、心よりお祝い申し上げます。入学してから早6年、心も身体も大きく成長し、小学校を巣立っていく立派な姿に感慨もひとしおのことと拝察いたします。これからも、心豊かに、たくましく成長されることを心よりお祈り申し上げます。併せまして、これまで本校の教育活動に多くのご理解、ご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。

結びに、ご来賓の皆様、地域の皆様方には、学校への深いご理解とご厚意を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。今後とも、綿打小学校を巣立ちゆく「綿っ子」たちを温かく見守っていただけますよう、重ねてお願い申し上げます。

輝く未来に向かって、一歩を踏み出す卒業生の皆さんの前途を、学校を代表しまして、心よりお祝いし、式辞といたします。

令和7年3月24日
太田市立綿打小学校
校長 脇坂 克伸

～ 卒業生へのメッセージ ～

ご卒業、おめでとうございます。

たった1年でしたが、皆さんと過ごした日々は、私にとってとても特別なものとなりました。

はじめて校長として赴任した綿打小学校。その学校の子どもたちのリーダーである6年生は、どんな子どもたちなんだろうと期待をして来ました。入学式の準備を一生懸命に行っている姿、始業式での集合の様子、整列の仕方、校歌の歌声、どれをとっても期待以上の姿がそこにあり、初日から感動の連続だったことを覚えています。さらには、あいさつ広め隊や校内ドッジボール大会などの主体的な活動、自分たちでクラスや学年、学校をよくしていこうとする行動、ユーモアにあふれ友達や他学年にもやさしい対応など、様々な場面で皆さんの良いところを見ることができました。

皆さんからたくさん思い出をもらっておきながら、私からは何もしてあげられなかったように感じています。でも、担任の先生方をはじめ、これまで皆さんに関わった多くの先生方が、皆さんを教え導いてくださったと思います。皆さんは、私にとって校長として最初の卒業生。私は、今もそしてこれからもずっと皆さんのことを応援しています。